

技術資料

枝幹害虫 対策ガイドブック



殺虫剤

フェニックス[®] フロアブル

フェニックス[®] フロアブル

有効成分:フルベンジアミド…18.0%



果樹分野の適用作物



りんご



なし



すもも



うめ



あんず<sup>(小粒核果類
での登録です)</sup>



もも



ネクタリン



おうとう



ぶどう



かき



くり



かんきつ



キウイフルーツ



ブルーベリー

★
枝幹害虫に
適用が
ある作物

フェニックスの特長

1 特異な作用性でチョウ目害虫に優れた効果

害虫の筋肉を収縮させるという特異な作用性を有します。果樹の枝幹害虫(スカシバ類やヒメボクトウなど)にも高い効果を発揮し、既存剤抵抗性害虫にも有効です。

2 速やかな食害抑制効果発現と優れた効果持続性

害虫の摂食行動を速やかに停止させるので、チョウ目害虫による作物への被害を小さく抑えることができます。また、効果持続性にも優れ、散布後長期にわたって安定した効果が続きます。

3 天敵・有用昆虫に対する高い安全性

選択性が高くチョウ目昆虫にのみ高い活性を示すため、天敵類に対する影響が少なく、IPM(総合的病害虫雑草管理)での活用にも適しています。また、ミツバチ、マルハナバチに対する影響も小さい薬剤です(蚕に対しては長期間影響があるので注意が必要です)。

枝幹害虫とは？

果樹の枝や幹に食入し、樹の内部を食い荒らすことで、生育阻害や枯死を引き起こす害虫の総称です。

害虫種としては、カミキリムシ類、キクイムシ類等のコウチュウ目のほかに、スカシバ類、ボクトウガ類、フタモンマダラメイガ等のチョウ目害虫がありますが、最近では特にこれらチョウ目の被害が顕在化しています。

フェニックスフロアブルはこのようなチョウ目の枝幹害虫防除に高い効果を発揮します。

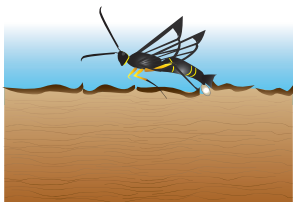


ヒメボクトウ被害樹（りんご）

枝幹害虫 コスカシバの生態とフェニックスの効果

■コスカシバの生態

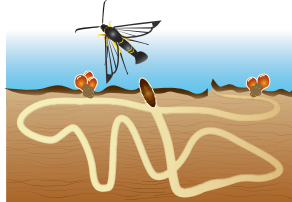
1 コスカシバは樹皮の割れ目などに卵を産み付けます。



2 卵から孵化した幼虫は、そこから木の内部へ潜り込みます。初めは樹皮下の浅い部分に食入し、徐々に深い部分に潜り込んでいきます。

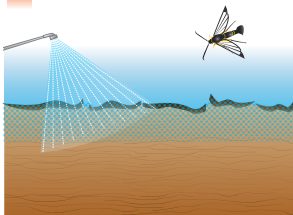


3 やがて、幼虫は樹皮に近い部分でさなぎになり、羽化して成虫になります。

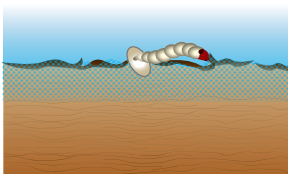


■フェニックスの効果

1 コスカシバが飛来してくる前にフェニックスを散布しておきます。



2 飛来してきたコスカシバに産み付けられた卵が、孵化して幼虫になります。



3 コスカシバの幼虫は樹幹部に食入しようとして、フェニックスが付着した樹皮に接触し、死に至ります。



食入するタイミングで効果を発揮

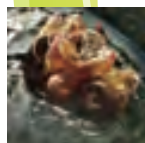
ヒメボクトウ

Cossus insularis



羽化後すぐに産卵します
開長約4~6cm

成虫



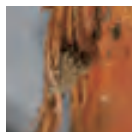
羽化殻
1つの羽脱孔から
複数個体が羽化します
7月下旬がピーク

羽化

被害樹



食害部から
噴出した虫糞



20-100卵程度、
黄色→褐色
卵期間:半月程度

卵塊

粗皮下で1-2齢を
過ごします(8-9月)
9月中下旬頃に
材中に穿孔



拡大

粗皮を剥ぐと↓



幼虫
(若齢)

材中に穿孔し翌年春から
材中や形成層を集団で激
しく食害します
樹皮に多数の吐糞孔が見
られます

幼虫
(老齢)



4cm程度

蛹



樹幹内で蛹化

防除
タイミング

※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください

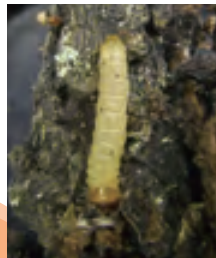
コスカシバ

Synanthedon hector



開長約3cm

成虫



幼虫
(若齢)

防除
タイミング

※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください

羽化



羽化殻
樹皮下で蛹化

幼虫
(老齢)



被害樹



食害部から
噴出したヤニ

● 春処理および秋処理で
高い効果を得られます。

フタモンマダラメイガ *Euzophera batangensis*



開長約1.5cm

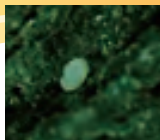
成虫

羽化

被害樹



卵



形成層、剪定時の切り口、主枝、垂主枝の分岐部を加害

幼虫

防除
タイミング

※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください

体長約1cm
樹皮下で蛹化



蛹

食害部から
噴出した虫糞

● 7月、9月の体系処理で
効果が安定します。

クビアカスカシバ *Toleria romanovi*



開長約4.5cm

成虫



卵：1mm程度で小さい
卵期間は2～3週間

卵

樹皮下で食害



幼虫
(若齢)

防除
タイミング

※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください

羽化

土中へ移動し土繭で越冬



土繭

幼虫
(老齢)



大きいものは4cm程度

被害樹



食害部から
噴出した虫糞

●粗皮削りしてからの散布が薬剤が
付着しやすく効果的です。

※発生は地域や年次によって変動します

成虫
発生量

高濃度樹幹散布の場合は開花期までに処理してください

		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
害虫名	時期																					
	発生時期																					
コスカシバ成虫(南日本)	発生時期																					
	発生時期																					
コスカシバ成虫(北日本)	発生時期																					
	発生時期																					
ヒメボクトウ成虫	発生時期																					
	発生時期																					
フタモンマダラメイガ成虫	発生時期																					
	発生時期																					
クビアカスカシバ成虫	発生時期																					
	発生時期																					

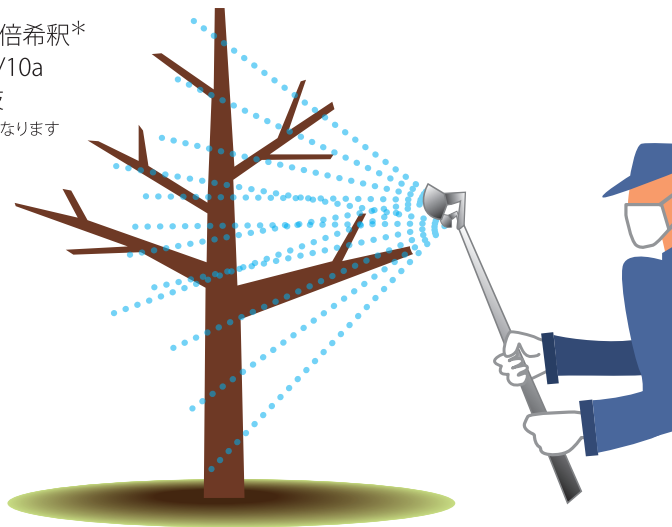
開花前に樹幹・主枝へ 高濃度少液量散布する

200～500倍希釈*

5～200ℓ/10a

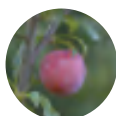
樹幹・主枝

*作物により異なります



開花前は葉がないため、かけムラが少なく
産卵部位にしっかりかかりやすい

高濃度少液量散布で枝幹害虫を防除できる作物



すもも



うめ



もも



ネクタリン



おうとう



ぶどう

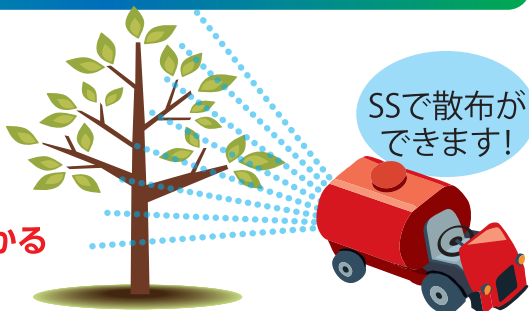


かき

生育期に樹全体へ 通常濃度で散布する

4000倍希釈
200～700 l / 10a
樹全体(葉・果実)

他の害虫と同時に
防除ができ、
枝幹害虫の防除にかかる
労力が削減できる



通常濃度散布で枝幹害虫を防除できる作物



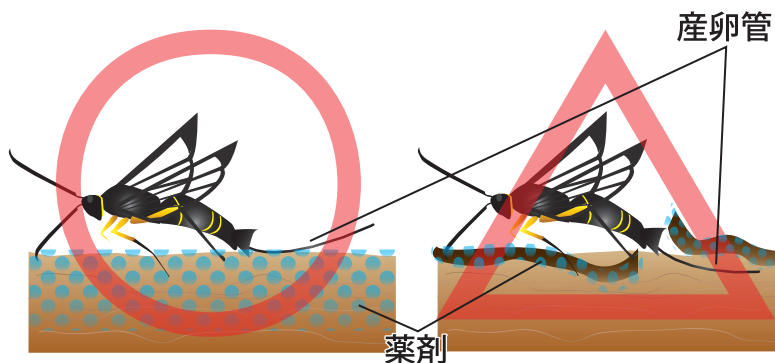
枝幹害虫と同時防除できる害虫 (作物により異なります)





粗皮削りをするとう薬剤の効果 を最大限発揮できます

コスカシバは樹皮の裂傷部などの隙間やざらついた部分に産卵管を押し込んで産卵します。粗皮削りにより、樹皮の隙間を少なくし、薬剤をかかりやすくすると効率よく幼虫の食入を防止できます。また、薬剤散布の際は加害部である樹幹にしっかり散布することが重要です。



粗皮削りをした状態



粗皮削りをしていない状態
(粗皮が浮いた部分が被害を受ける)



被害の認められる樹と、 その周辺を重点的に防除

枝幹害虫は毎年同じ場所に集中産卵する傾向があります。

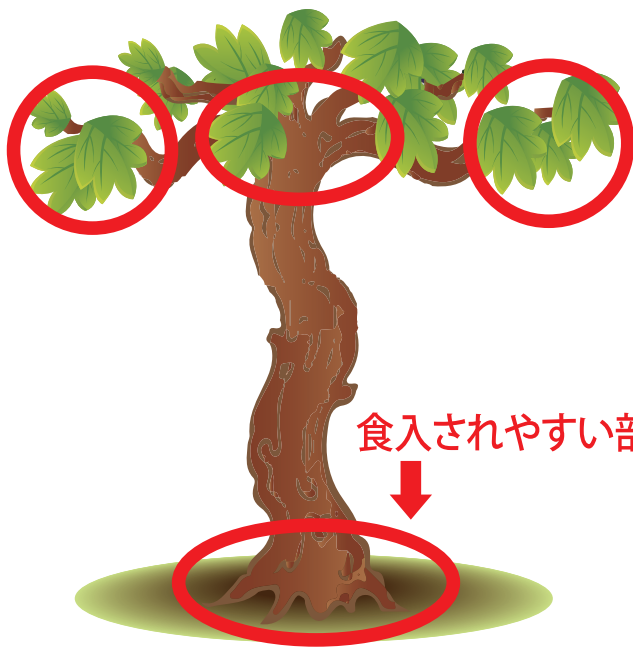
被害のある樹及びその周辺の樹を重点的に防除することで安定した効果が期待できます。





樹の食入されやすい部位 に重点的に散布

スカシバ類は地面に近いところや垂主枝部分から食入する傾向があります。SSで散布する際は補完散布することで効果が安定します。



食入されやすい部位

ケムシ類防除にもフェニックス！

フェニックスフロアブルがケムシ類に適用のある作物



果樹を加害する主なケムシ類



アメリカシロヒトリに対する効果



長期間アメリカシロヒトリの
発生を抑えました



フェニックスフロアブル4000倍処理区

無処理

和歌山県現地試験 (2015 年)
作物: うめ 処理: 5月21日
撮影: 10月14日 (処理146日後)



※写真はイメージです

枝幹害虫の生態と防除の動画を公開中
フェニックス特設サイト



フェニックス普及会

日本曹達株式会社

NO.506-1909SP

事務局

日本農薬株式会社

2019年9月作成版 (SPA) W0591909